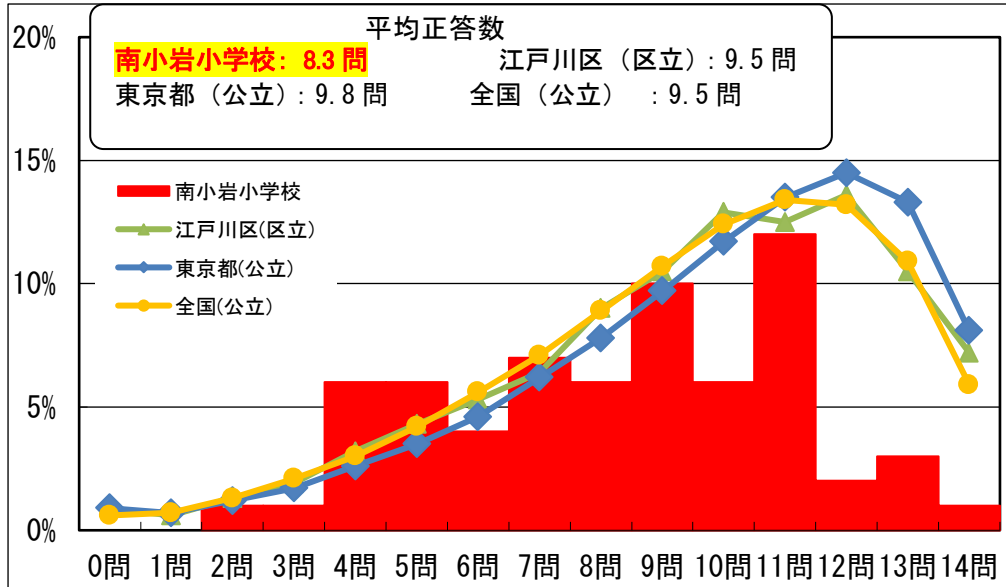


令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【国語】南小岩小学校

正答数分布



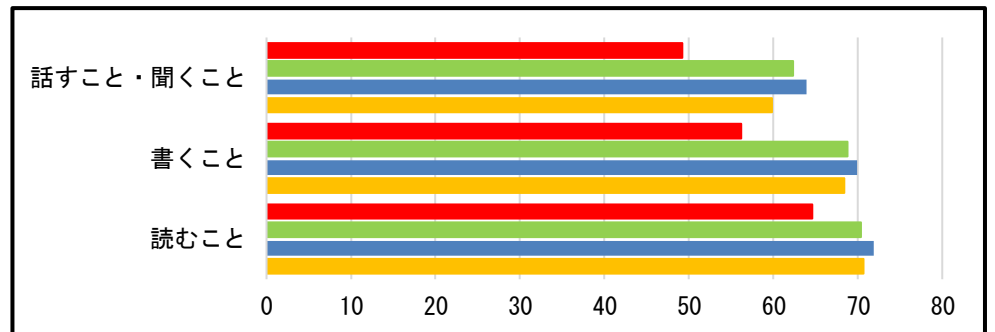
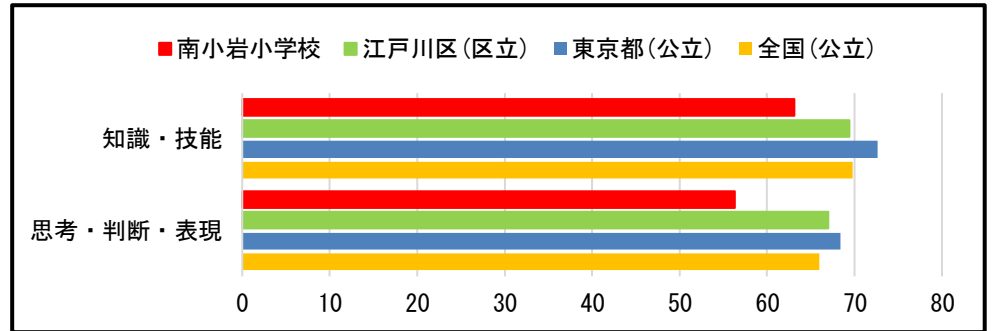
<四分位における割合(都全体の四分位による)>

上位 ← → 下位

国語	A層 12~14問	B層 10~11問	C層 8~9問	D層 0~7問
南小岩小学校	14.6	28.0	24.6	32.8
江戸川区(区立)	31.3	25.4	19.5	23.8
東京都(公立)	35.9	25.2	17.5	21.4
全国(公立)	30.0	25.8	19.6	24.6

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。上の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

「領域別」の結果



【平均正答率の差】

南小岩小学校	59%
江戸川区(区立)	68%
東京都(公立)	70%
全国(公立)	67.7%
都との差	11ポイント

%

【分析結果と授業改善に向けて】

- ・平均正答率は、東京都と比較して11ポイント前年度と同様に下回る結果となった。
- ・国語の学習では、教材を通して自分の考えを深める活動を多く取り入れ、表現力を伸ばしていく。また、日常から文章を書く機会を多くもち、内容の構成等を整理して適切に相手に伝えたり、聞き取ったりする力を身に付けていくよう指導する。